

③水辺での昔遊び体験



テーマ

地元の川で遊んで昔遊びにふれてみよう！

人数

20人

対象学年

小学4年生以上

実施時期

7月から10月

実施時間

2時間程度

最低経費

0円



参考画像：上南地区公民館 柵口湯沢川親水公園

場所

流れが緩やかで水深が浅い川、モデル地区：橋立ヒスイ峡・早川（交流促進センター周辺）

必要なスタッフ数

スタッフ 5名程度（川の流量によって変化）

児童1班6名で大人1名+全体監視のため2名以上 3班体制なら5名以上

指導のねらい

- ・水辺の周辺環境を観察し、危険について学ぶ機会を提供する。
- ・自然のものを工夫・活用して遊ぶことで想像力、考える力を育てる
- ・自然の大切さを学び、環境について考える心を育てる。

指導の流れ及び留意点

◆活動の流れ・内容

- ①集合前に事前用具を準備する。
- ②参加者の人数・体調確認を行い、開会式・スタッフ紹介・スケジュールを説明する。
- ③場所によってはライフジャケットなど安全装備を付ける。
- ④班ごとに水鉄砲をつくる。
- ④前半は川辺で遊び活動。水鉄砲・ダム作り・小魚探し。
- ⑥後半は水辺ネイチャーゲームを行い、水辺を探索する。
- ⑦終了前にはごみ拾い活動をとおして環境を大切にする学習をする。
- ⑧終了後活動の振り返り。

◆留意点

- ・歩いて虫や小石を拾う程度なら糸魚川地域振興局への許可は不要。魚を獲る場合は内水面漁協の許可が必要。
- ・溺れる、手足を切るなど危険がある事業であるため職員・役員は事前に現地を確認し、現地近くでトイレや着替えはどのようにするか確認しておくこと。
- ・炎天下の活動となる場合、脱水症状や熱中症に注意し、飲料水など準備しておく。
- ・川の周辺探索は事前に調査場所を決めておくこと。
- ・体調不良の方が出た場合の対処方法について事前に職員・役員で打ち合わせておく。
- ・天候が悪い場合は延期・中止をするなど安全確保について常に心掛けること。

必要な用具（物品例）

※★は必須物品

	用品名	経費の目安	備考
	救急箱・ブルーシート、ゴミ袋など	3,000 円	活動時に使用、既存のものがあれば購入不要 ゴミ袋は持参するが、多少準備
★	ライフジャケット	借用	能生 B&G から無償で借用可能 (生涯学習課にTEL)
★	水鉄砲つくりの材料	-	材料次第。竹筒・竹が入手可能なら費用無し
★	水鉄砲つくりの器具	-	道具はのこぎり、キリ、布、ヒモ など
★	カメラあるいはビデオ	-	記録用、既存のものがあれば購入不要
	ワンタッチテント	-	日影が必要な場合
	飲料	-	各自持参だが、不足に備えて用意したい。
	川フィールドビンゴ	-	使用する場合は印刷して持っていく。

※借用した品が破損した場合、新たに購入して返品する。

参加者の持ち物

水の中にはひざ下だけ入り、ひざ上は入れない予定だが、転倒する可能性もある。長靴など川の中に入れる靴、水筒、帽子、タオル、必要であれば着替えと救急用品が防止のため長袖長ズボンが好ましい。

外部指導者・事業相談

事業相談：糸魚川市文化振興課 フォッサマグナミュージアム
糸魚川市生涯学習課
会場を予定している地区公民館
糸魚川地域振興局 地域整備部 業務課行政係

教科との関連

【理 科】3年：身近な自然の観察

4年：季節と生物

6年：生物と環境

【社 会】5年：国土の自然などの様子

【特別活動】遠足・集団宿泊行事

※モデルコースは次ページ

モデルコース 早川交流促進センター付近



早川写真



◇川に降りる階段や駐車場があり、水鉄砲作成の会場やトイレなど早川交流促進センターが活用できる。また川辺を歩ける場所も広いため、活動に適している。

モデルコース 橋立ひすい峡付近



◇ジオサイト学習も同時に行うことができる。

注：駐車場は多少あるが、トイレは無いため事前に済ませておく必要がある。

橋立ひすい峡写真

